

# 第156回京都市中小企業経営動向実態調査

貴社の概要を御記入ください。(該当する箇所には、○印を付けてください。電算処理しますので、お手数ですが漏れなく御回答ください。)

会社名							
経営形態	法人・個人	資本金		万円	電話		—
設立年	(明治以前・明治・大正・昭和・平成・令和)			年	従業員数		人(うち非正規人) ※2
※1 業種	製造業： A 西陣・B 染色・C 印刷・D 窯業・E 化学・F 金属・G 機械・H その他の製造						
	非製造業： I 卸売・J 小売・K 情報通信・L 飲食店、宿泊・M サービス・N 建設						
	観光関係の売上： 1 50%以上 2 25%以上50%未満 3 10%以上25%未満 4 0%超10%未満 5 なし 観光客を対象とする製品を作る製造業、商品を扱う卸売業、小売業及びサービスを提供するサービス業などの売上の割合を指します。						
主な製品、商品、サービス							
御記入者	部課：		役職：		氏名：		

※1 業種の記入につきましては、別紙「記入上の注意」を御覧ください。

※2 非正規・・・パート、アルバイト、契約社員、嘱託社員など

(1) 貴社の経営状況についてお尋ねします。該当するものに○印を付けてください。

項目	期 間			令和7年7～9月の実績 (前年の同期と比較して)			令和7年10～12月の予想 (令和7年7～9月期と比較して)			
	上 昇	不 変	下 降	上 昇	不 変	下 降	上 昇	不 変	下 降	
貴社の業況										
生産加工量・販売量	増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少	
経常利益(税引前)	増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少	
製品・加工単価、販売単価	上 昇	不 変	下 降	上 昇	不 変	下 降	上 昇	不 変	下 降	
仕 入 単 価	上 昇	不 変	下 降	上 昇	不 変	下 降	上 昇	不 変	下 降	
製品・商品在庫量	過 剩	適 正	不 足	過 剩	適 正	不 足	過 剩	適 正	不 足	
雇 用 人 員	過 剩	適 正	不 足	過 剩	適 正	不 足	過 剩	適 正	不 足	
資 金 繰 り	楽	普 通	苦	楽	普 通	苦	楽	普 通	苦	
同業他社との競争	激 化	不 変	緩 和	激 化	不 変	緩 和	激 化	不 変	緩 和	
※「製造業」 を営む方 のみ回答	受注残	増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少
	生産設備	過 剩	適 正	不 足	過 剩	適 正	不 足	過 剩	適 正	不 足
	設備投資	し た	し て い な い	す る	し な い					

(2) 該当するものに○印を付けた理由を御記入ください。

(令和7年7～9月の実績)
(令和7年10～12月の予想)

(3) 貴社の当面の経営戦略についてお尋ねします。該当するものに○印を付けてください(複数回答可)。

- 営業力の強化(顧客・市場開拓)
- 生産・経営の合理化
- 人材確保・育成
- 新規産業分野への進出
- 自社ブランドの育成
- 新商品の開発・販売
- 研究開発体制の強化
- 情報収集・分析力の強化
- その他( )

(4) 貴社の経営上の不安要素をお尋ねします。該当するものに○印を付けてください(複数回答可)。

- 競争激化
- 売上不振
- 人材育成
- 値下要請
- 仕入値上要請
- 原材料(特に )価格上昇
- 金利上昇
- 販売価格安
- 技術力不足
- 後継者問題
- 人手不足
- 人件費増加
- 為替動向
- その他( )

お忙しいところ、御協力いただきありがとうございます。裏面の付帯調査についてもよろしく御願いたします。

当調査票は、同封の返信用封筒もしくはFAXにて、業務委託先(株)東京商工リサーチ京都支店 [FAX:211-4788] へ御返送をお願いします。

なお、調査内容に関するお問い合わせは、依頼文に記載の問合せ先までお電話をお願いいたします。

**【付帯調査】新事業展開、海外展開及びデジタル化・DXについて**

貴社の新事業展開、海外展開及びデジタル化・DXについてお尋ねします。以下、A～Gについて該当するものに○印を付けてください。

A. 新事業展開として取り組んでいること、また検討している取組は何ですか（複数選択可）。

1. 新市場開拓	2. 新製品開発
3. 多角化（既存の事業を維持しつつ、新市場で新製品・サービスを展開する）	
4. 事業転換（既存事業を縮小・廃止しつつ、新市場で新製品・サービスを展開する）	
5. 業態転換（EC販売の拡大やデリバリーサービス導入など既存の製品・サービスの営業方法を転換する）	
6. 他企業とのコラボレーション	7. その他（ ）
8. 新事業展開に取り組む予定はない	

B. 新事業展開の実施・検討において、課題に感じることはありますか（複数選択可）。

1. 資金の確保	2. 推進する人材の確保	3. 協業先の開拓
4. 企画・戦略策定	5. 市場分析（ニーズ・情報収集）	6. 販路の開拓
7. その他（ ）	8. 特になし	9. 新事業展開に関心がない

C. 海外展開として取り組んでいる手法、また検討している手法は何ですか（複数選択可）。

1. 直接輸出	2. 間接輸出	3. 海外への直接投資（現地拠点設立等）
4. 海外企業への生産・販売の委託		5. 越境EC
6. その他（ ）	7. 海外展開に取り組む予定はない	

D. 海外展開の実施・検討において、課題に感じることはありますか（複数選択可）。

1. 資金の確保	2. 推進する人材の確保	3. 企画・戦略策定
4. 市場分析（ニーズ・情報収集）	5. 販路の開拓	6. 現地パートナーの開拓
7. ターゲット国・地域の選定	8. 言語	9. ローカライズ
10. その他（ ）	11. 特になし	12. 海外展開に関心がない

E. 【こちらの質問は、海外展開に実際に取り組まれている方に限りご回答ください。】

海外展開に取り組むにあたって、特に重要と考えることは何ですか（複数選択可）。

1. 資金の確保	2. 推進する人材の確保	3. 専門家による伴走支援
4. 企画・戦略策定	5. 市場分析（ニーズ・情報収集）	6. 展示会出展
7. 広報（SNSの活用等）	8. 販路の開拓	9. 越境EC
10. 現地パートナーの開拓	11. ターゲット国・地域の選定	12. ローカライズ
13. その他（ ）	14. 特になし	

F. デジタル化・DXの取組状況について該当するものに1つ○印を付けてください。

1. 紙や口頭による業務が中心で、デジタル化が図られていない状態
2. アナログな状況からデジタルツールを利用した業務環境に移行している状態
3. デジタル化による業務効率化やデータ分析に取り組んでいる状態
4. デジタル化によるビジネスモデルの変革や競争力強化に取り組んでいる状態

G. 「100億宣言」について知っていますか。該当するものに1つ○印を付けてください。

1. 宣言済みである	2. 宣言する予定である	3. 宣言することを検討している
4. 関心はあるが宣言する予定はない	5. 知っているが関心がない	6. 知らない

お忙しいところ、御協力いただきありがとうございました。今後ともよろしくお願いたします。